

加工・業務用向け野菜の取組事例

No. : 4

1, 経営体の概要

- 名 称 農事組合法人 アグリ三新
- 所在地 佐賀県嬉野市塩田町
- 従業員数 役員4名、社員26名
- 栽培作物、作付面積
キャベツ: 3ha (100%加工用契約)
水稲: 25ha、大豆: 7ha、麦類: 41ha、
WCS用稲4.5ha
- 主な契約、提供先
JA系列のカット野菜工場

2, 取組の経緯と特徴

- 平成27年に集落営農組織から法人化し、土地利用型農業を営んでおり、従事分量配当の実施や地元酒造会社と結びついて酒米の生産などを行っている。
- 法人収入の確保と農閑期の労働力の活用を目的に、加工・業務用キャベツ栽培に取り組んでいる。
- 専任の会計担当者を確保することで、組合員は農作業に専念出来る体制をとっている。

3, 今後の目標と課題

- 後継者を確保し法人経営を持続させるため、兼業農家の跡継ぎ世代に対し、40～50歳代組合員からノウハウの継承を行っている。
- 新規作物の導入を検討しているが、組合員の意思統一が難しい。
- 稼げる農業を目指し、新たな加工・業務用野菜の試験栽培等を行っている。



キャベツ栽培ほ場



キャベツ栽培ほ場

〈お問い合わせ先〉：農事組合法人アグリ三新（FAX：0954-66-0081）